

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	入居者様と家族・家族と介護者の交流は、行事や面会時などに行っているが、家族同士の交流の場が少ない。	家族同士の交流の場を作る。	行事への参加の中で、家族同士が交流できる時間を持つようにする。	12ヶ月
2	1・27	介護する上での理由や位置づけの統一が出来ていないので、同じ介護をしても声掛けや動きにずれがある。	1年間の介護目標を定めて、それに添った介護支援を一同で行うようにする。	平成24年の12月のリーダー会議にて、目標を上げることの説明を行い、各階での話し合いをしてもらう。2月初めに、目標を決めて、全員(介護者・家族・入居者)が目につくように掲げる。	12ヶ月
3	6・7・8	言葉掛けにより、入居者様の動きを阻むことになったり、思いの否定をされていると感じている様子や言葉が聞かれることがある。	言葉による拘束・虐待について、介護者全員が熟知し共に注意しあう事で、入居者様の思いや動きの受入れを行っていく。	拘束・虐待についての研修を行う。気になる言動については、其の都度、注意しあう事で介護の質を高めていく。	6ヶ月
4	26・27	モニタリングの記録に不十分な点が見られる。	介護計画の内容についての把握と、それに添った定期的なモニタリングの実施。	毎月の介護計画内容の確認と、計画に沿ったモニタリング記録の継続	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。